

投稿規定

■ 投稿論文

産婦人科に関連する領域の原稿で、すべて実地臨床に沿った論文に限ります。

また、他誌への投稿中の論文は御遠慮下さい。

■ 原稿の採否について

- ・原稿の採否は編集委員会にて採否決定されます。
- ・編集方針に従って、原稿の加筆・削除・改稿をお願いする事があります。
- ・採否の結果はご通知いたします。
- ・掲載料は原則として無料です。

■ 論文の種類と原稿枚数（図表含）

投稿論文の種類と原稿枚数の目安は以下の通りです。

今日の話題：20枚 総説：20枚 原著：20枚

診療：20枚 臨床経験：20枚 症例：15枚

なお、論文の掲載欄は編集委員会で決定いたします。

■ 論文の書き方

- ・論文原稿は平仮名まじりの口語体、新かなづかいの横書きとし、A4判またはB5判の紙に印刷して下さい。
- ・本文、図原稿データ入りのメディアを必ず添付して下さい。執筆者名・使用機種（ソフトウェア）名を明記して下さい。
- ・原稿用紙の1枚目に、ご希望の掲載欄、次に表題・著者名（9名までとし、読み仮名を英文で記述する）・所属・役職の順で明記（共著の際は校正者を必ず指定）して下さい。
- ・すべての原稿に250字以内の要旨をつけて下さい。
- ・記述の順序は、原則要旨・はじめに・方法・成績・考察・おわりに・文献・図表（写真）として下さい。
- ・度量衡の単位はcgs単位を用い、数字は算用数字を用いて下さい。
- ・英語のつづりは米国式（例：estrogen, gynecology）で外国の人名、地名は原語のままで記載して下さい。

■ 文献について

- ・文献引用は、論文に直接関係あるもの20編以内にとどめ、末尾に一括して引用した順に掲げて下さい。
- ・文献での著者名は1名までとし、論文の表題を必ず入れ、次のように記載して下さい（本文中では引用部位の右肩に文献番号^{1) 2)}を必ず付けて下さい）。

- 1) 進 純郎ほか：一絨毛膜性双胎の問題点、産婦の実際 42：203-210, 1993
- 2) 星 和彦ほか：男性不妊、産婦人科学書Ⅰ（編：森崇英ほか）、p508-520、金原出版、1994
- 3) Gilstrap LC et al：Thetransferofthenucleosideanalogganciclovircrosstheperfusedhumanplacenta. AmJObstetGynecol 170：967-973,1994
- 4) Nicolaides KH et al：Ultrasonographicallydetectablemarkersoffetalchromosomaldefects (ed：NeilsonJP et al).p41-82,Oxford University Press,1993

■ 図・表・写真について

- ・図、表および写真は、本文中に貼りつけず、必ず1枚ずつ別紙に添付して下さい。
- ・写真はなるべくjpgファイル形式とし、解像度は350dpi以上をご用意下さい。
- ・カラーの使用には制限があります。
- ・図と写真は区別せず、通し番号を付記して下さい。
- ・図表の挿入される位置を原稿に明記して下さい。
- ・図および表を引用の際は、出典を必ず明記して下さい。
- ・他誌掲載の英語の図表を引用する場合は、日本語にして下さい。
- ・他誌より図表を転載する場合は、出版元の許諾を得て下さい。

■ 校正について

原稿の校正は、初校を著者校とします。校正に際しては文章の大幅な書き換え、追加などはご遠慮下さい。

■ 別刷および贈呈誌について

- ・別刷は30部まで無料とします。
- ・それ以上については、10部単位で承りますが、その実費を著者負担とします。
- ・論文筆頭者に掲載誌を1部贈呈いたします。

■ 著作権について

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版（株）に譲渡されたものとし、これら諸権利の許諾は金原出版（株）が行います。

■ 原稿送付先・お問い合わせ

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

金原出版（株）雑誌部

「産婦人科の実際」編集室

TEL03-3811-7165・FAX03-3813-0288

E-mail：sanpu@kanehara-shuppan.co.jp

